

「とある双子の以心電心」

イラスト：アズ

初版：コミックマーケット 82

八冊目はちよつと原点に戻って、自分の疑問に自分なりの解答を出すコンセプトでした。『ミサカネットワーク』なんてものをこれまた理論だけで作ったものなのかという疑問に、発電系能力者の双子なら実験できるんじゃないかというのが自分流の解答です。

そんな訳でオリキャラは「玖忍伝司」^{くしのたつたの}、「玖忍伝乃」^{くしのつたの}という双子です。能力は『以心電心』^{イシケンコネシヨウ}。電撃も使えますが、双子間のネットワーク形成による情報のやり取り、会話が可能です。さらにシステム自体はミサカネットワークの前身という事で、ネットワークのジャミングもできます。話の中ではこれを使って一方通行の妨害を行っています。彼らは自分達が受けた学園都市の非人道的な実験を許せず、脱走して報復を始めるというお話でした。なお二人は生死不明のまま。

——と、能力の設定的にはしつかりできてくるものの、話で生かされなかったというどこかでやったパターンを繰り返してしまいました……。コミケ81は落選したので、その分時間的余裕もあつたんですが、ていうかページ数だけでいえば一〇冊中最多ではあるんですが、それでも足りなかったという……。美琴と一方通行、打ち止めは描けただけマシですが、自分としては一番もったいないと思ったのが、オリキャラの『双子』という設定でしょうか。せっかくだから入れ替わりの要素も込めればもっと面白くできたのかなーと。その辺の反省を踏まえて九冊目に向かいます。

